



4 学校で省エネルギー対策をしてみましょう

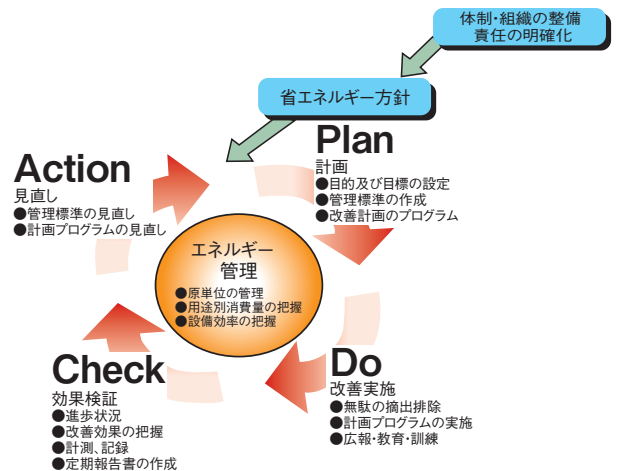


体制・組織をつくり省エネルギー行動をしましょう

学内全体で協力して省エネルギーに取り組むことが重要です。

教職員の指導のもと、生徒会などが中心となって、省エネルギーに取り組む組織を立ち上げてみてはどうでしょうか。

学校全体のエネルギー消費量などを把握し、目標を掲げ、対策を実施し、見直しを図る、という一連の行動で、効果的な省エネルギー活動が期待されます（図表 3-1）。参考として、奈良県王寺町立王寺小学校の取組事例を紹介します（図表 3-2）。



図表3-1 PDCA図の例
((財)省エネルギーセンター)



エクステール王寺小

「ビューティフル・アース活動」の歩み

奈良県王寺町立王寺小学校

平成18年度省エネルギーコンクール（資源エネルギー庁）

【子ども達と取り組む地球温暖化防止と循環型社会の構築】

～省資源・省エネルギー・3Rのすすめ～

◎はじめに

日常生活を送る上では、あまり実感のわかない問題だが、今や、地球環境の悪化が重大な問題になっている。地球温暖化やオゾン層の破壊、大気・気象の異常、森林資源の減少、土壌劣化、水質汚濁など地球規模の環境問題は、深刻さを増している。また、大量消費による資源の枯渇は、わたしたちの生活を成り立たないものにしつつある。京都議定書の約束期間2008年～2012年が近づいているが、日本の温室効果ガスはなかなか減らない。

豊かな地球環境を次世代に引継ぎ、持続可能な循環型社会を築くために、地球環境のことや私たち一人ひとりのライフスタイルや行動についても考えなければならない。

本校は、奈良県指定のエコスクール継続実践校であり、「王寺小ビューティフル・アース活動」が今年で5年目になる。日々成長していく子ども達が、現在の環境問題を解決し、持続可能な社会を作っていくために、環境保全に関する情報や体験の機会の提供を正しく行なわなければならないと考えている。

また、本年度は、県指定の「森林環境教育体験学習推進校」として、体験活動を実施している。森林が、主な二酸化炭素の吸収源として、地球温暖化防止に重要な役割を果たしていることなど、子ども達が、森林の大切さや森林のもつ役割について体験を通して理解できるように学習をすすめている。

本校のエコスクールとしての環境教育や環境保全の取り組みは、学校と家庭・地域との連携をもとに、各界の協力を得て、協働して推進している。

1. 環境にやさしい生活を実践できる力や態度を育てるための学習過程

【総合的な学習の時間や教科での学習】

(1) 環境をみつめる・課題をみつめる	・生活環境を注意深くみつめ、興味・関心を持つ。 ・ワークシート、アンケート、観察用紙などを活用する。
(2) 環境について調べる・確かめる	・資料を調べる。観察・測定。ゲストティーチャーによる実験と講演による学習。 ・インターネットで検索する。
(3) 環境にやさしい生活を実践する	・省資源・省エネルギー・3R（リサイクル・リユース・リデュース）の体験学習をする。 ・家族や身の回りの人々と協力し合いながら取り組めるようになる。

2. 実践への啓発活動

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高学年児童から低学年児童への呼びかけ。 ・PTAでの環境学習講座の開催。 ・各家庭へ、環境学習への参加の案内。 ・町広報誌に本校の推進活動を掲載。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童から家庭へ、学校から家庭への呼びかけ。 ・PTAの運営委員会だよりで各家庭への呼びかけ。 ・児童の作文やポスターの校内外への掲示。 ・国・県・町からの啓発ポスターを校内に掲示。 |
|---|--|

3. わたしたちの生活と環境問題への取り組み

- (1) **地球温暖化とわたしたちの暮らし** ～ストップ温暖化からはじめよう～
王寺小児童会校内掲示用「エコステッカー・エコポスター」の作成

エコステッカーの例

こまめに 節水
こまめに スイッチ OFF

ちょっとした注意や工夫で
省エネ効果

夏の省エネルギー
クーラーの温度を 28℃に！
冬の省エネルギー
暖房を 20℃に！

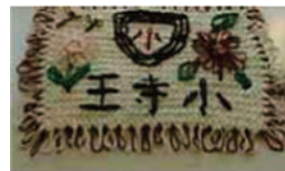


エコポスターの例

- (2) **「廃棄物(ごみ)」とわたしたちの生活** ～ごみをへらそう 限りある資源を大切に～



給食の後、給食センターで食べ残しの状況を聞かせてもらいました



捨てればごみの産業廃棄物を作品にしました

- (3) **「大気汚染」とわたしたちの暮らし** ～身近なところから考えよう～

二酸化窒素濃度を測るためにフィルターバッジを
24時間設置しました。



国道 168 号沿いの運動場東側のフェンスと校内の木の茂みの中にフィルターバッジと温度計を設置

【大気環境調査をしてわかったこと】

1. 同じ国道沿いでも、交差点では、車がスムーズに流れる所より濃度が高くなる。
2. 道路沿いのガードレールのある地点から10m、20mと道路から離れるにつれて濃度が下がる。
3. 道路から同じ程度離れた地点でも、住宅地より公園や寺・神社内の方が、樹木（特に落葉樹）の葉が二酸化窒素を吸収するので濃度が低くなる。

(4) **心理環境学習体験活動** ～わたしたちの生活や環境と森林との関係について学ぶ～
地球温暖化防止に役立てよう

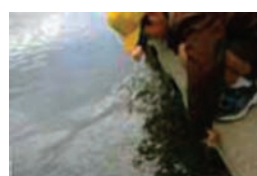
ウサギ小屋の真夏の日
よけと環境浄化にヒマ
ラザクラを植えた



「森の役割」
二酸化炭素の吸収、
水を蓄える、きれ
いな水を流すなど

(5) **「水の汚染」とわたしたちの暮らし** ～いのちの水 限りある資源を大切に～

家庭から使い終わった食用油を学校に持ち
よって、廃油石けんと交換します。
廃油石けんは家庭に持ち帰り洗濯や台所で使
います。



葛下川でのパックテスト



各家庭の生活排水を持ち寄り
パックテストで調査



手作りの「排食油石けん」で
洗濯実習

(6) **循環型社会をめざして**

【「菜の花」から見る 循環型社会】

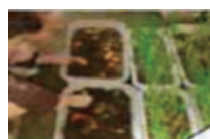
育てた菜の花の種から6年生が油絞り体験
学習をし、エネルギーや資源の循環などにっ
いて学ぶ。絞った菜種油は、食用や燃料にし、
絞り粕は、肥料にする。化石燃料や化学合成
物質に代わり、これからのエネルギーとして
も期待されている。今年もチャレンジ！！



今年も立派に育った菜の花



コンポストで堆肥作り



土壌の再生にミミズのおうち



花や野菜・柿の木などに
雨水の活用

◎おわりに

長い年月をかけて形成される木材や石油・石炭などの限りある資源を有効に活用し、浪費を避け、地球への負担を最小限にして、循環利用を図ることが重要な課題である。

私たちは日々の生活において、様々な資源を利用していかなければならない。次代を担う子ども達が、環境問題や・資源・エネルギー問題について正しく理解し、資源やエネルギーを大切に有効に活用していくために、環境問題やエネルギー教育を推進していきたいと考えている。

これからも、子ども達とともに、省資源・省エネルギー・3R（リデュース・リユース・リサイクル）を心がけ、私たちひとりひとりができることやしていかなければならないことを継続実践していきたい。